



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2021年1月28日

上場会社名 東邦金属株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5781 URL <http://www.tohokinzoku.co.jp>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)小樋 誠二
 問合せ先責任者 (役職名)総務部部长 (氏名)西崎 友彦 (TEL)06(6202)3376
 四半期報告書提出予定日 2021年2月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の業績(2020年4月1日~2020年12月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	3,012	5.0	63	—	124	—	115	—
2020年3月期第3四半期	2,870	△5.9	△73	—	△56	—	△60	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	49.67	—
2020年3月期第3四半期	△25.99	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	5,453	2,220	40.7
2020年3月期	4,814	2,073	43.1

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 2,220百万円 2020年3月期 2,073百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	—	—	0.00	0.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,960	5.6	20	—	70	—	63	—	27.17

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	2,338,001株	2020年3月期	2,338,001株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	19,478株	2020年3月期	19,401株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	2,318,578株	2020年3月期3Q	2,318,851株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・ 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間(2020年4月1日～2020年12月31日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策のための経済活動の抑制により、急速に悪化しました。その後、緊急事態宣言解除後の段階的な経済活動の再開に伴い、緩やかに回復の動きがみられたものの、感染症の再拡大に歯止めがかからず、経済環境は依然として不透明な状況にあります。

海外においても新型コロナウイルス感染症は一向に収まる気配を見せず、再拡大を続けており、更なる経済への悪化懸念が高まっております。

このような状況下、当社は安定した利益の確保を最重要課題に掲げ、売上高の確保及び材料歩留改善、生産性改善、購入価格低減、固定費削減などの原価低減活動に注力しましたが、一部に回復がみられるものの、タングステン・モリブデン製品の生産・販売は、受注減が続き部分的な臨時休業を実施する等予断を許さない状況が続いております。

売上高は、タングステン・モリブデン製品の需要低迷が続いたものの、自動車用電極部品や合金及び電気・電子部品等の販売が、好調に推移したことにより、3,012百万円(前年同四半期 2,870百万円)と前年同四半期比5.0%の増収となりました。

損益面は、売上高増加に加え、工場の部分的な臨時休業を含めた労務費、経費等の削減により、営業利益は63百万円(前年同四半期 営業損失73百万円)となりました。

営業外収益は雇用調整助成金等により72百万円となり、営業外費用は支払利息等により12百万円となりました。

結果、経常利益は124百万円(前年同四半期 経常損失56百万円)、四半期純利益は115百万円(前年同四半期 四半期純損失60百万円)となりました。

セグメント区分別の状況は、次のとおりであります。

(電気・電子)

タングステン・モリブデン製品の売上高は、前期に引き続き半導体市場に加え自動車業界の需要低迷により、876百万円(前年同四半期 1,022百万円)と14.3%の減収となりました。

合金及び電気・電子部品の売上高は、光通信用タングステン合金が好調に推移し、540百万円(前年同四半期 479百万円)と12.6%の増収となりました。

その他製品は、市場での交換需要により自動車用電極部品が増加し、売上高は1,270百万円(前年同四半期 1,044百万円)と21.7%の増収となりました。

この結果、電気・電子合計の売上高は2,687百万円(前年同四半期 2,547百万円)と5.5%の増収となり、営業利益は87百万円(前年同四半期 営業損失54百万円)となりました。

(超硬合金)

超硬合金の売上高は324百万円(前年同四半期 323百万円)と0.4%の増収となり、営業損失23百万円(前年同四半期 営業損失18百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産は3,386百万円(前事業年度末 2,733百万円)となり、653百万円増加しました。主たる要因は、現金及び預金の増加300百万円、原材料及び貯蔵品の増加257百万円、受取手形及び売掛金の増加176百万円、電子記録債権の増加57百万円及び仕掛品の減少143百万円によるものであります。

(固定資産)

当第3四半期会計期間末における固定資産は2,066百万円(前事業年度末 2,081百万円)となり、14百万円減少しました。主たる要因は、有形固定資産の減少60百万円及び投資有価証券の増加44百万円によるものであります。

(流動負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債は2,148百万円(前事業年度末 1,690百万円)となり、457百万円増加しました。主たる要因は、短期借入金の増加435百万円によるものであります。

(固定負債)

当第3四半期会計期間末における固定負債は1,084百万円(前事業年度末 1,050百万円)となり34百万円増加しました。主たる要因は、長期借入金の増加35百万円によるものであります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産は2,220百万円(前事業年度末 2,073百万円)となり146百万円増加しました。主たる要因は、四半期純利益115百万円及びその他有価証券評価差額金の増加31百万円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の業績予想につきましては、第3四半期累計期間の各段階利益において既に業績予想の数値を大きく上回っておりますが、今後の受注動向等が不透明なことから2020年10月29日に発表いたしました業績予想の数値を据え置いております。

今後、業績動向を踏まえ、通期予想の修正が必要な場合には速やかにお知らせいたします。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	334,320	635,096
受取手形及び売掛金	892,721	1,069,087
電子記録債権	163,642	220,858
商品及び製品	50,812	60,638
仕掛品	851,002	707,038
原材料及び貯蔵品	395,856	653,195
その他	45,062	40,989
貸倒引当金	△211	-
流動資産合計	2,733,207	3,386,903
固定資産		
有形固定資産		
土地	782,785	782,785
その他(純額)	692,156	632,143
有形固定資産合計	1,474,942	1,414,929
無形固定資産	13,510	9,307
投資その他の資産		
投資有価証券	499,326	543,386
その他	106,260	111,644
貸倒引当金	△12,732	△12,732
投資その他の資産合計	592,853	642,298
固定資産合計	2,081,307	2,066,535
資産合計	4,814,514	5,453,439
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	173,554	303,583
電子記録債務	212,677	216,919
短期借入金	955,000	1,390,000
未払法人税等	9,034	10,181
賞与引当金	57,139	26,525
その他	283,493	201,226
流動負債合計	1,690,899	2,148,436
固定負債		
長期借入金	595,000	630,000
退職給付引当金	259,411	263,629
役員退職慰労引当金	76,952	60,245
その他	119,010	131,068
固定負債合計	1,050,374	1,084,943
負債合計	2,741,274	3,233,380

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2020年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,531,828	2,531,828
資本剰余金	237,794	237,794
利益剰余金	△927,388	△812,220
自己株式	△27,804	△27,914
株主資本合計	1,814,429	1,929,487
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	258,809	290,571
評価・換算差額等合計	258,809	290,571
純資産合計	2,073,239	2,220,059
負債純資産合計	4,814,514	5,453,439

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
売上高	2,870,298	3,012,400
売上原価	2,548,826	2,581,715
売上総利益	321,471	430,685
販売費及び一般管理費		
従業員給料及び手当	160,348	145,895
賞与引当金繰入額	7,311	6,363
役員退職慰労引当金繰入額	11,325	9,700
退職給付費用	7,899	8,516
減価償却費	15,995	19,958
貸倒引当金繰入額	△15,933	△211
その他の一般管理費	207,718	177,104
販売費及び一般管理費合計	394,664	367,328
営業利益又は営業損失(△)	△73,193	63,356
営業外収益		
助成金収入	-	50,802
受取利息及び配当金	22,129	17,216
その他	5,207	4,946
営業外収益合計	27,337	72,965
営業外費用		
支払利息	9,282	11,811
その他	1,258	189
営業外費用合計	10,541	12,001
経常利益又は経常損失(△)	△56,396	124,321
特別利益		
投資有価証券売却益	3,316	-
特別利益合計	3,316	-
特別損失		
固定資産除却損	1,784	-
特別損失合計	1,784	-
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△54,864	124,321
法人税、住民税及び事業税	5,405	9,153
法人税等合計	5,405	9,153
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△60,269	115,167

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。